

APS/生産スケジューリングシステム PlanWizard 2008
最新版 Ver1.000 までのバージョンアップ詳細履歴

[株式会社ウィザードシステム研究所](#)

弊社ユーザー様のご要望等を踏まえながら、常に最新の生産スケジューリング技術を開発しております。

Ver 21.993 PlanWizard2008 Ver1.000 (H20.1.28)

(追加・改良)

- (1) 設備マスターへ「制約フラグ」を追加。
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (2) ガントチャートウィンドウへ次のコマンドを追加。
「ヒストグラムジャンプ - 設備カレンダー」
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (3) オーダーガントチャートウィンドウへ次のコマンドを追加。
「ヒストグラムジャンプ - 設備カレンダー」
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (4) 製品ガントチャートウィンドウへ次のコマンドを追加。
「ヒストグラムジャンプ - 設備カレンダー」
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (4) 個別管理リソースガントチャートウィンドウへ次のコマンドを追加。
「ヒストグラムジャンプ - 設備カレンダー」
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

Ver 21.990 Ver21.993 (H20.1.8)

(追加・改良)

- (1) 中間体グループマスターへ「数値仕様 01 ~ 05」フィールドを追加。
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (2) 工程名称マスターへ「数値仕様チェック」フィールドを追加。
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (3) 設備マスターへ「数値仕様範囲」フィールドを追加。
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

Ver 21.988 Ver21.990 (H19.12.28)

(追加・改良)

- (1) 各種メニューヘイメージボタンの追加。
- (2) 半製品・製品間クリティカルの改良。

Ver 21.978 Ver21.988 (H19.12.18)

(追加・改良)

- (1) 重み計算を改良。
- (2) 各種エディタのプロパティに「フォント」タブを追加。

エディタのフォントを設定できます。

Ver 21.972 Ver21.978 (H19.12.5)

(追加・改良)

***** 重要 *****

(1) ガントチャート等のプロパティのフォントを一旦強制的に標準フォントへ変更します。必要に応じて、プロパティで再設定して下さい。

(2) クリティカルの改良。

Ver 21.958 Ver21.972 (H19.11.29)

(追加・改良)

(1) 「ユーティリティ - その他 - テーブル - パレットの編集...」コマンドを追加。標準のパレットをカスタマイズできます。

***** 重要 *****

(2) シミュレーションの色を変更。(多少、薄い色合いにしました。)

(3) デフォルトのパレットの色を変更。(全体的に多少、薄い色合いにしました。) 必要であれば、上記(1)の「パレットの編集...」コマンドを実行し、クラシックボタンを押すことにより、元のパレットと同じ色に戻ります。ただし、シミュレーション等の色の変更はできません。

Ver 21.940 Ver21.958 (H19.11.20)

(追加・改良)

(1) テーブルウィンドウの「セルの書式設定...」ダイアログの「パターン」タブへ「色の設定...」ボタンを追加。任意の色(1677万色)を設定することが可能です。

Ver 21.937 Ver21.940 (H19.11.11)

(追加・改良)

(1) マクロ・ツール・レイアウトビューへ「スケジューリング」を追加。登録ルールをダブルクリックするとそのルールでスケジューリングができます。
(2) エディタウィンドウのツールバーへ「再描画」を追加した。

Ver 21.931 Ver21.937 (H19.10.31)

(追加・改良)

(1) 「ユーティリティ - ホスト - カレンダー転送 2...」コマンドを追加。カレンダー転送を任意のリソース、任意の期間で実行します。

Ver 21.916 Ver21.931 (H19.10.16)

(追加・改良)

(1) 一連ラインの高速化。

- (2) 工程間リソースの改良。
- (3) カレンダービューからカレンダーを開く場合、ガントチャートがアクティブの場合は、その左端日付を参照してカレンダーを開くようにした。
- (4) マクロコマンド「READ_CAL_FROM」を追加。
書式：READ_CAL_FROM 引数 1 (フォルダ)
引数 1 で指定されたフォルダからカレンダー情報を取込みを行います。
- (5) マクロコマンド「WRITE_CAL_FROM」を追加。
書式：WRITE_CAL_FROM 引数 1 (フォルダ)
引数 1 で指定されたフォルダへカレンダー情報の転送を行います。

Ver 21.907 Ver21.916 (H19.10.02)

(追加・改良)

- (1) マスター統合エディタで中間体情報の参照コピーで、すでに存在する工程の中間体を選択した場合は、工程名称と中間体名称を空白にし、他の情報はコピーして使用できるようにした。現状は選択エラーとなってしまう。

Ver 21.900 Ver21.907 (H19.9.20)

(追加・改良)

- (1) マクロコマンド「EXIT_MACRO_IF_ACTIVE_TABLE_PRINT_RECORD_NOT_EXIST」の追加。
書式：EXIT_MACRO_IF_ACTIVE_TABLE_PRINT_RECORD_NOT_EXIST <省略化：引数 1 >
引数 1：出力メッセージ (半角スペースを入れないで下さい。)
現在アクティブなテーブルウィンドウに表示 (抽出) されているレコードが存在しない場合、マクロを中断します。
引数 1 が指定されている場合は、引数 1 をメッセージとして出力してマクロを終了します。
引数 1 が省略されている場合は、メッセージを出力せずにマクロを終了します。
- (2) マクロコマンド「GOTO_IF_ACTIVE_TABLE_PRINT_RECORD_NOT_EXIST」の追加。
書式：GOTO_IF_ACTIVE_TABLE_PRINT_RECORD_NOT_EXIST 引数 1
引数 1：ジャンプ先ラベル (半角スペースを入れないで下さい。)
現在アクティブなテーブルウィンドウに表示 (抽出) されているレコードが存在しない場合、引数 1 で指定されているジャンプ先ラベルへジャンプします。
ただし、ジャンプ先ラベルは同一マクロファイルで、且つ、本マクロコマンドよりも下位の行へ定義されている必要があります。ラベルは、大文字、小文字が区別されません。ラベルの先頭は、必ず「：」(コロン) にして下さい。
- (3) マクロコマンド「SET_MIDDLE_NAME」を追加
書式：SET_MIDDLE_NAME
「ユーティリティ - テーブル - その他 - 中間体名称の設定...」コマンドを実行します。

Ver 21.881 Ver21.900 (H19.9.10)

(追加・改良)

- (1) 各種メニューヘイメッセージボタンの追加。
- (2) テーブルウィンドウの配色を一部変更。

- (3) テーブルウィンドウのデフォルトフォントを「MSゴシック」へ変更。
デフォルトフォントは、一度、強制的に変更されます。
必要に応じて初期設定「テーブル」タブの「デフォルトテーブルフォント」、及び、「ダイアログフォント」を変更して下さい。
また、「全テーブルのセルのフォントをデフォルトフォントに設定...」コマンドも必要に応じて実行して下さい。

Ver 21.780 Ver21.881 (H19.9.4)

(追加)

- (1) 「ユーザー設定」ダイアログ (「表示 - ツールバー - ユーザー設定...」コマンド) に「キーボード」タブを追加。
ショートカットキーをカスタマイズできます。

Ver 21.749 Ver21.780 (H19.8.23)

(追加)

- (1) 標準ツールバーのデザイン更新。
(2) 標準ツールバーへ「テーブル情報の確認...」コマンドを追加。
(3) エディタのツールバーのデザイン更新。
(4) エディタのツールバーへ「名前をつけて保存...」コマンドを追加。
(5) テーブルポップアップウィンドウのツールバーのデザイン更新。
(6) テーブルポップアップウィンドウのツールバーへ「レコード編集...」コマンドを追加。
(7) テーブルポップアップウィンドウのツールバーへ「リンク情報表示...」コマンドを追加。

Ver 21.728 Ver21.749 (H19.8.17)

(追加)

- (1) 「ユーティリティ - その他 - テーブル - 中間体名称の設定...」コマンドを追加。
製品名称と工程名称から中間体名称を設定します。
(2) リソースマスターへ「カスタマイズ」フィールドを追加。
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
(3) オーダーガントチャート、製品ガントチャート、個別ガントチャートへ「ヒストグラムジャンプ」ポップアップメニューを追加。
(4) オーダーガントチャート、製品ガントチャート、個別ガントチャートへ以下のコマンドを追加
「ヒストグラムジャンプ - リソース稼働率グラフ」
選択したリソースのリソース稼働率グラフへジャンプします。
(5) オーダーガントチャート、製品ガントチャート、個別ガントチャートへ以下のコマンドを追加
「ヒストグラムジャンプ - リソースカレンダー」
選択したリソースのリソースカレンダーへジャンプします。
(6) オーダーガントチャート、製品ガントチャート、個別ガントチャートへ以下のコマンドを追加
「ヒストグラムジャンプ - ワークセンタカレンダー」

選択したワークセンタのワークセンタカレンダーへジャンプします。

Ver 21.600 Ver21.728 (H19.7.28)

(追加・改良)

- (1) カレンダービュー (ドッキングウィンドウ) を追加。
- (2) マクロ・ツール・レイアウトビュー (ドッキングウィンドウ) を追加。
- (3) 「表示 - カレンダービュー」コマンドを追加。
カレンダービューをアクティブにします。
- (4) 「表示 - マクロ・ツール・レイアウトビュー」コマンドを追加。
マクロ・ツール・レイアウトビューをアクティブにします。

Ver 21.500 Ver21.600 (H19.7.11)

(追加・改良)

- (1) マスター展開ビュー (ドッキングウィンドウ) を追加。
- (2) マスター逆展開ビュー (ドッキングウィンドウ) を追加。
- (3) 「表示 - マスター展開ビュー」コマンドを追加。
マスター展開ビューをアクティブにします。
- (4) 「表示 - マスター逆展開ビュー」コマンドを追加。
マスター逆展開ビューをアクティブにします。

Ver 21.179 Ver21.500 (H19.7.3)

(追加・改良)

***** 重要 *****

- (1) メニューやツールバー等のグラフィカルユーザーインターフェースの一新。

- (2) メインウィンドウのグラフィカルユーザーインターフェースへタブを導入。
- (3) 「表示 - ツールバー」コマンドを「表示 - 標準」コマンドへ変更。
- (4) 「表示 - ツールバー」ポップアップメニューを追加。
- (5) 「表示 - 標準」コマンドを「表示 - ツールバー」ポップアップメニューへ移動。
- (6) 「表示 - ツールバー - ユーザー設定...」コマンドを追加。
ツールバーのカスタマイズを行います。
- (7) 「表示 - テーマ」ポップアップメニューを追加。
- (8) 「表示 - テーマ - Normal」コマンドを追加。
メインウィンドウのテーマを「Normal」に設定します。
- (9) 「表示 - テーマ - Office2000」コマンドを追加。
メインウィンドウのテーマを「Office2000」に設定します。
- (10) 「表示 - テーマ - OfficeXP」コマンドを追加。
メインウィンドウのテーマを「OfficeXP」に設定します。
- (11) 「表示 - テーマ - Office2003」コマンドを追加。
メインウィンドウのテーマを「Office2003」に設定します。
- (12) 「表示 - タブポジション」ポップアップメニューを追加。
- (13) 「表示 - タブポジション - 上部」コマンドを追加。

- タブの位置を上部にします。
- (14) 「表示 - タブポジション - 下部」コマンドを追加。
タブの位置を下部にします。
 - (15) マスター統合エディタで製品名称、工程名称を選択・変更した場合、自動的に中間体名称を設定するようにした。ただし、中間体名称をユーザーが独自に設定した場合は、自動変更されません。
 - (16) マスター統合エディタで新規に中間体を追加した場合、デフォルトで製品の単位を設定するようにした。
 - (17) マスター統合エディタで製品の単位を選択・変更した場合、自動的に同一単位の中間体の単位を変更するようにした。
 - (18) エディタへ「ツールバー」コマンドを追加
ツールバーを表示します。
 - (19) エディタへ「ツールバー情報の保存...」コマンドを追加
エディタのツールバー情報を保存します。
 - (20) バージョン情報のダイアログボックスへ HP のアドレスを追加。
(その他)
 - (1) 添付の DLL をインストールフォルダへコピーして下さい。

Ver 21.170 Ver21.179 (H19.6.27)

(追加・改良)

- (1) コントロールファイル出力時、ヘッダーを出力する場合、ヘッダーの最初にセミコロン「;」を付加するようにした。
- (2) 初期設定「その他 6」タブの「実績が着手のロットは、実績終了日を再計算する」が「Yes」の場合の再計算後の実績欄の表示を変更した。
現状：再スケジューリング結果の実績終了予定日までの幅でバーが描画される。
新規：実績取得日までが描画され、その他実績終了予定日まででも別で描画される。

Ver 21.134 Ver21.170 (H19.6.11)

(追加・改良)

- (1) Windows Vista 対応。

Ver 21.127 Ver21.134 (H19.6.5)

(追加・改良)

- (1) 「ユーティリティ - その他 - データ削除・再読込 - マスター削除 - 個別管理リソースマスター削除...」コマンドの追加。
指定した個別管理リソースマスターに関連するマスターを削除します。
- (2) マクロコマンド「MASTER_INDIV_RESOURCE_DELETE」
書式：MASTER_INDIV_RESOURCE_DELETE 引数 1
引数 1：個別管理リソースマスターのレコード番号
引数 1 にレコード番号ではなく、「-9999」を設定した場合、表示されている全レコードに対して処理を実行します。
「ユーティリティ - その他 - データ削除・再読込 - マスター削除

- 個別管理リソースマスター削除...」コマンドを実行します。

Ver 21.118 Ver21.127 (H19.5.30)

(追加・改良)

- (1) 個別管理リソースマスターのバリデーション強化。
- (2) マクロコマンド「READ_ESHEET_MASTER」を追加。
書式：READ_ESHEET_MASTER <省略可：引数(0,1)>
「ユーティリティ - エントリーシート - マスター取込...」コマンドを実行します。
引数「1」を指定すると「上書きモード」でコマンドが実行されます。
省略または引数「0」で「追加モード」でコマンドが実行されます。
実行前に自動的に全てのウィンドウを閉じます。
- (3) マクロコマンド「WRITE_ESHEET_MASTER」を追加。
書式：WRITE_ESHEET_MASTER
「ユーティリティ - エントリーシート - マスター転送...」コマンドを実行します。
- (4) マクロコマンド「ESHEET_EXE」を追加。
書式：ESHEET_EXE
「ユーティリティ - エントリーシート - エントリーシート起動...」コマンドを実行します。

Ver 21.0 Ver21.118 (H19.5.18)

(追加・改良)

- (1) 「ユーティリティ - エントリーシート」ポップアップメニューを追加。
- (2) 「ユーティリティ - エントリーシート - マスター取込...」コマンドを追加。
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (3) 「ユーティリティ - エントリーシート - マスター転送...」コマンドを追加。
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。
- (4) 「ユーティリティ - エントリーシート - エントリーシート起動...」コマンドを追加。
しばらく使用しないで下さい。後日詳細資料をお送り致します。

この他のバージョンアップ履歴に関しては、以下のリンクをご覧ください。

[APS/生産スケジューリングシステムPlanWizard](#)

[過去のバージョンアップ詳細履歴とリリース情報](#)

カタログ・製品紹介CDのお申込みは [こちら](#) から

[株式会社ウィザードシステム研究所](#)